



香川県立中央病院  
Kagawa Prefectural Central Hospital

れんけい

題字: 松尾信彦書



## 新年ごあいさつ 院長 松本祐蔵

新年あけましておめでとうございます。昨年は県立中央病院の運営につきまして多大のご指導、ご支援をいただき誠に有難うございました。

日本の昨年1年を振り返りますと、東日本大震災の復興は少しずつ進んではいるものの、原子力発電所事故の処理は依然として目途が立ちません。さらに国際的には、竹島や尖閣諸島の領有権問題が外交紛争に発展、日本経済にも大きな影響が出ているというのに政治は混乱を極め、とうとう総選挙に突入して、政権は再び自民党になりました。これから医療政策がどのように変化をしていくのか不安な毎日を過ごしております。特に消費税問題は深刻です。現在は病院で購入をする機器や材料に対して5%の消費税を払っていますが、保険診療には消費税の上乗せはされておらず、当院規模では約3億円に上る損失となっていると言われております。消費税が10%になればどの病院でも黒字経営は困難になってきますので、その前に問題解決をしてもらいたいところです。



さて、県立中央病院では、2月に臨床研修機能評価機構の審査を受け、4年間の再認定を貰いました。また、2年に一度の診療報酬改定時にはDPC II 群病院 (DPC病院1,505病院は、大学病院本院を I 群80病院、それに準ずる一般病院を II 群90病院、その他 III 群1,335病院に分類) の指定を受け全国的にも上位のランクに認められました。高度医療、救急医療、地域医療への貢献などが評価されたものと思います。DPC II 群病院に留まるためには高度の診療レベルが求められますので、引き続き頑張っております。11月8,9日の2日間サンポートホール高松を中心に第51回全国自治体病院学会が開催されました。この学会は全国の1,000近い自治体病院の全職種の職員が参加をして、研究発表、問題討議や研修をする学会で、今年は香川県支部の16の自治体病院、診療所が担当し、県立中央病院に事務局が置かれました。市民公開講座も同時に行ない、3,000名以上の参加者が集い、盛会のうちに終わることができました。地域連携室を通して地域医療機関の皆様とは常に緊密な連携を取らせていただいております、ファックスでの予約も月400件を超えて、紹介あるいは当院からの診療依頼も増加傾向にあります。本年には病院間の連携システムの稼働も予定されており、より効率的な医療の提供ができるようになりますと期待をしております。また、患者さんや家族の方々に対する、色々なご相談、ご要望にお応え出来るように各種相談窓口をさらに充実いたします。

当院の大きな役割である重症患者対象の3次救急医療に関しましては、昨年来の香川県が行ないました救急医療についての周知活動や高松市を中心にした救急搬送システムの稼働により、軽症患者さんの受診が減少しております。引き続き適正な救急受診にご協力をお願いいたします。本年はいよいよ新病院への移転、開院が秒読みの段階に入っております。新しい診断、治療機器をはじめ、災害に強い設備を整えて、香川県の医療の最後の砦としての機能を発揮すると共に、地域医療機関との連携体制の確立に取り組んでまいります。相変わらず駐車場の不足、手術室の不足など皆様にはご不便をおかけいたしておりますが、今しばらく現病院でご辛抱をお願いいたします。今後とも医師不足、看護師不足など医療を取り巻く環境は厳しいものがありますが、高度で良質な医療を県民の皆様にご提供できるように職員一同頑張っておりますので、一層のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

## 医療セミナーの開催予定

地域医療機関の先生方を対象とした医療セミナーを開催します。

- 日時: 平成25年2月7日(木)19時00分より
  - 場所: 当院10階会議室
  - テーマ: **化学療法の副作用対策**
  - 講師: 消化器・一般外科 山川俊紀、皮膚科 井上雅子
- 多数の先生方のご参加をお待ちしています。

## 職場紹介

## 麻酔科

麻酔科 診療科長  
平崎 盟人

当院での麻酔科の主な業務は手術室における麻酔業務と、集中治療室における重症患者様の全身管理です。常勤麻酔科医は現在10名で、手術室では年間3,500件前後の麻酔症例をこなしています。集中治療室では心臓血管、肺、食道などの大手術後の全身管理・疼痛管理、多発外傷、熱傷、重症肺炎、重症膵炎など、主に呼吸・循環のサポートや血液浄化の必要な患者様の診療を行っています。

近年、手術を受ける患者様の高齢化やハイリスク合併症の増加が目立ちますが、各診

療科の先生方や手術室、集中治療室のスタッフと密に連携し、ご協力をいただきながら麻酔業務、集中治療業務を一貫して行うことで、より安全な周術期管理、全身管理が行なえるものと考えております。そして、限られたスペース、スタッフ、時間の中で、安全性や管理の質を下げることなく年々増加する麻酔症例に対応すべく、日々努力を続けております。

当院ではマンパワー不足もあって、残念ながらペインクリニック外来は行なえておりませんので外来患者様との直接の接点は少ないのですが、周術期の全身管理や重症患者様の診療を通して地域医療に貢献を続けたいと考えておりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。



## 医療セミナーを開催しました。

平成24年10月18日(木)19:00から、当院10階会議室において、「がん性疼痛の緩和」と題しての医療セミナーを開催しました。講師はがん性疼痛看護認定看護師の西山美穂子師長と、緩和薬物療法・がん薬物療法認定薬剤師の仲川三春副主幹でした。参加者は医師等42名で、院外からも22名の先生方にご出席いただきました。

西山師長からは、がんの主要な身体症状の一つである「痛み」を和らげるため、その状況を把握し、患者や家族に十分説明し、徹底した副作用対策を行うことが重要であるなど、患者を支える看護についての講演がありました。

仲川副主幹からは、非オピオイド鎮痛薬から強オピオイド鎮痛薬にかけての各種薬物療法や抗うつ薬など、最新の緩和薬物療法についての講演がありました。

今後も当院における医療を代表し、興味あるさまざまなテーマを取り上げて、皆様のお役に立つ医療セミナーを積極的に開催していく予定です。是非ご参加下さい。



## データで見る中央病院「心血管に対するカテーテル治療」循環器内科

循環器内科では、カテーテルによる心血管の検査および治療を行っています。昭和56年に1例目を行い、昨年11月に累計2万件に達しました。近年は検査数が増加しており、昨年は1,300件に及んでいます。

カテーテルによる血管内治療は、狭心症や心筋梗塞といった虚血性心疾患に対する冠動脈治療だけでなく、下肢動脈や腎動脈などの末梢動脈に対しても積極的に低侵襲のカテーテル治療を導入しています。動脈硬化性疾患の増加に伴い治療件数も増加しており、治療成績の向上にもつながっています。

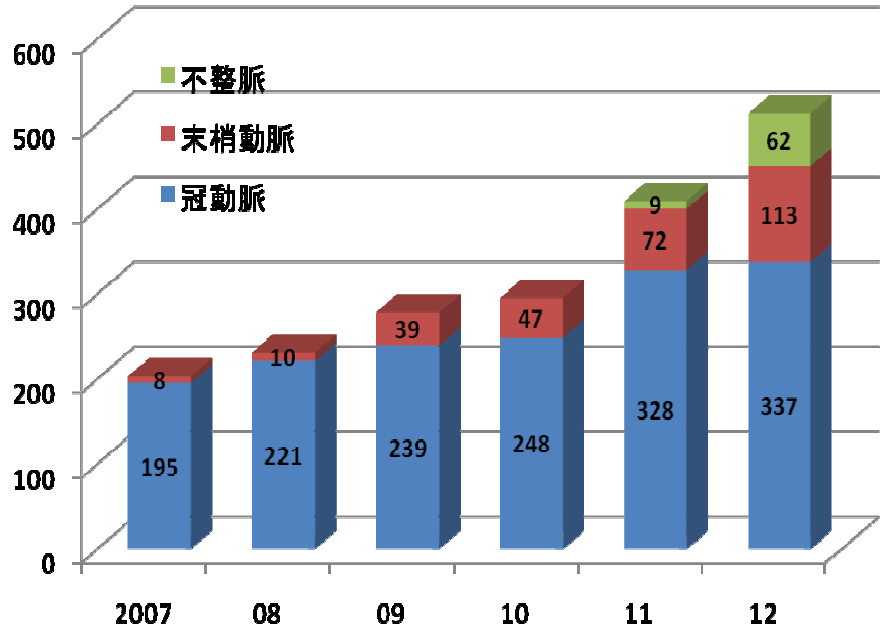
昨年4月からは念願であった不整脈に対するカテーテル治療も本格的に開始することができ、症例をかさねています。

心臓血管外科との連携を密にとり、質の高い医療を提供できるよう努力しています。

循環器内科部長 土井 正行

### 心血管に対するカテーテル治療数の推移

2012年12月6日現在



## 県立中央病院肝臓病患者会公開講座のお知らせ

肝細胞がんの基礎知識や最近の治療について専門医が分かりやすくお話しします。

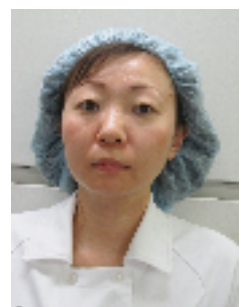
- 日時: 平成25年2月2日(土)10時00分より ● 場所: 当院10階会議室
- テーマ: 肝細胞がんの最近の治療について
- 講師 上甲 康二(日本赤十字社松山赤十字病院 肝臓・胆のう・膵臓内科(肝胆膵センター)部長)
- 予約不要、参加費無料 ● 問合せ: 地域連携室(087-835-2222 内線587)

## 新しく認定看護師に加わりました。

### 集中ケア認定看護師 南3病棟(ICU) 中村明世

病院の機構再編、診療報酬の改定が進む中、当院でも毎年入院期間が短縮化しています。また、県の基幹病院として病院全体のクリティカル(生命の危機的状況にある重症患者)ケアを必要とする患者さんも増加しています。そのため、これまで集中治療室で管理されていた患者が、一般病棟へとケアの場が変化しつつある現状において、クリティカルケア看護の知識・技術は、どの科においても必要不可欠となり、もはや集中治療室の中だけで提供されるものではありません。

クリティカルケアに携わっているスタッフで、日々のケアに不安や迷いを感じている方とともに、患者・家族にとって良い結果を出せるよう一緒に考えていこうと思います。また、そのためには他職種とより連携を保つことが大切です。皆様のご協力をよろしくお願い致します。



## 第4回病院祭を開催しました。

12月8日(土)、今年は第51回全国自治体病院学会のため、例年より1ヶ月程度遅くなりましたが、第4回病院祭を開催しました。当日は風が大変強く、天候はあまり良くありませんでしたが、院内外から多数の方々にご参加・ご協力いただきました。

公開健康講座では、当院整形外科部長 大塚和俊医師が「腰痛について」と題して、また循環器内科医長 大河啓介医師が、「心筋梗塞・狭心症について」と題して講演しました。院内コンサートでは、高松市立亀阜小学校、附属高松小学校の皆さんによる合唱のほか、ソプラノ、フルート、ピアノによるアンサンブル、当院職員有志「SWATS(スワッツ)」による演奏等が行われました。

玄関前では地元有志「碧空会(あおぞらかい)」による1,000食のうどんが振舞われ、来場者は打ち立てのうどんに舌鼓を打ちました。花や野菜などの即売も行われ、大盛況のうちに終えることができました。

ご参加いただいた皆さん、準備等でお手伝いいただいた皆さん、本当にありがとうございました。



公開健康講座



院内コンサート

## 新中央病院ニュース (新中央病院の整備状況について)

新中央病院の建築工事は、2階エリアの躯体(床・壁・天井)部分について、コンクリート打設工事が完了しました。また、病棟が建つ工区では5階床までの鉄骨が組まれており、12月下旬からは8階床までの鉄骨建方工事に着工しています。

今後、重点的に検討しなければいけない課題として、新病院への移転作業(引っ越し)があります。病院の引っ越しは、現病院で使用している多数の医療機器・家具・什器の移動だけでなく、入院している患者さんの搬送を行う必要があります。今回、12月11日の入札の結果、新病院への移転作業の業務委託先が決定しました。安全かつ確実に移転作業を完了させるために、綿密な入院患者縮小計画(※)や物品搬送計画などを検討していきます。

新中央病院は、平成26年春の開院を目指して整備事業を進めています。引き続き、皆様のご支援・ご協力をお願いいたします。

※新病院への患者搬送を短期間で実施するため、引っ越し時は一時的に入院患者数を縮小します。



工事現場の状況(H24.12.11現在)

### 医師の人事異動

転出 10月31日付 須崎康敬 (皮膚科)

